

ディボーション質問表

22日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

23日(月) サムエル記第一 10:1~13

1. ここには儀式としての油注ぎと、実際の聖霊による神の油そそぎが記されています。これらの主の霊による変革が起きたら、「手当たりしだい何でもしなさい。」とサウルは命令されます。この言葉はあなたにとってどんな意味があるのでしょうか？
2. サウルは預言者ではありませんでしたが、聖霊によって預言をすることができました。それは現代の私たちにも可能です。求めてみましょう。
3. サムエルと話した後、「サウルの心は変えられ、新しくされました。」人との交わりを通して心が一新された経験はありますか？ この心の一新をセルの中に求めていきましょう。

24日(火) サムエル記第一 10:14~27

1. サムエルの警告にも関わらずイスラエルに王としてサウルが定められます。しかし、肝心のサウルは隠れてしまいました。彼の心中を想像してみましょう。
2. 27節にサウルを侮る者達が出てきます。なぜ彼らはこのように発言したと思いますか？ またなぜサウルは何も言わなかったのでしょうか？

25日(水) サムエル記第一 11:1~15

1. サウルはまだ王として即位はしていませんでした。その前にアンモン人のナハシュが一部の地域に侵攻しヤベシュの人々の目をえぐることを条件にする条約を突きつけます。ヤベシュの人々は全イスラエルに助けを求めました。あなたならこんな時どうするのでしょうか？
2. 民はこの戦いを通してサウルを王として認めます。そして以前サウル王を侮った者を殺そうとします。しかし、サウル自身がそれを許可しませんでした。なぜだと思いませんか？ また、あなたは復讐を思いとどまった事がありますか？ それによってどんな祝福を得ましたか？

26日(木) サムエル記第一 12:1~25

1. サムエルは預言者であるとともに、最後の最も強力な士師でもありました。しかし、王を求める民の声を無視せず、彼らに選択の余地を与えました。このことから神の、人間に対する接し方が想像できますか？ あなたは周りの人に選択の自由を与えているのでしょうか？
2. サムエルの最後の言葉から、王を求めた事はよくなかった事がわかります。それでも神とサムエルの、民への誠実は変わりませんでした。私たちは相手が自分の意見に同意してくれなくても、誠実を尽くす用意があるのでしょうか？

27日(金) サムエル記第一 13:1~23

13章から15章はサウル王の犯した愚かな行動が描かれています。これが理由で王の資格を失います。しかし、彼の取った行動は人として理解できるものですから、霊的に注意深くディボーションする必要があります。

1. 13節のサムエルの言葉に注目してください。なぜ、サムエルはこのように言ったのでしょうか？ サウルの愚かさとは何だったのでしょうか？
2. 11節のサウルの言い分は最もですし、17~23節を見ても彼はがんばっています。しかし、彼の考え方は14節のような未来しか持っていません。このサウルの取った行動から何を学べるのでしょうか？
→現状の不安を神様への信頼で克服できていますか？

28日(土) サムエル記第一 14:1~23

1. ヨナタンは、どのような行動を取りましたか(1、6節)？ 神様は彼の行動にどのように答えられましたか(15、23節)？
2. その後、サウルはどのような行動と取っていますか(18節~エポテとはどういう意味でしょうか〔士師8:27参照〕)？
3. ヨナタンはだれに信仰を持っていますか？ サウルは何に信仰を持っていますか？ 1節のような行動を取らなければならなかったヨナタンからサウルとの関係、またサウルという人物について考えて見ましょう。